

10日に上京、要求実現へ政府と直接交渉

日本共産党の小牧一美議員は、川内たかし参院滋賀選挙区予定候補、西川仁県議をはじめ湖南地域の議員団と一緒に10日上京し、切実な要求実現へ政府と直接交渉します。これに先立ち5日には、栗東のRD産廃処分場を現地調査、埋められていたドラム缶やいまも地中から硫化水素ガスが出ている現場などをみてまわり、あらためて深刻さを実感しました。

「あるから、掘らない…」

でに倒産。県も財政的な側面から、これに充分な対応ができていません。環境省の指導もあり、県は1月末、これまで以上に詳細な調査を提案しました。しかし5mほど掘削しないと、住民は「5m掘って、違法な廃棄物が出てこなかったら、それで終わってしまった。実際はそれ以上の深さに埋められている。県の対応は、(それ以上掘ったら違法廃棄物があることがわかっていて、だから)あるから掘らない、というのが本音ではないか」と指摘されています。的を得た発言ではないでしょうか。栗東市民だけでなく守山市の飲み水にもかかわる問題です。全容解明へ、特措法の延長など、政府に直接要望します。

不法に埋められていた大量のドラム缶



日本共産党 RD産廃処分場現地調査

栗東のRD産廃処分場は、1979(昭和54)年、安定型処分場として県が埋め立てを許可、操業を開始しました。ところが、埋め立て後の1999年7月、処分場排水管や地下から硫化水素ガスを検出。許可以上埋め立てたことや医療廃棄物など違法な廃棄物が大量に埋められたことが大きな問題となっています。

元従業員から「ドラム缶に入れて埋めた」という証言もあり、その証言通り、大量の廃棄物が発見されました。(左上の写真)しかし、これはほんの一部。地下20mにまで埋められていると言われるその実態の解明は、事態が明らかになって10年経過した今も、明らかになっていません。採取した浸透水や地下水には、環境基準の数倍から、物質によっては100倍もの化学物質が検出されています。埋められた物質が地下で化学反応を起こし、硫化水素ガスも発生しています。「全量撤去してほしい」というのが、住民の皆さんの強い要求となっています。ところが業者はす

小牧議員の現地レポート

地中から硫化水素ガスが…



化学反応をおこし地中から硫化水素ガスが…

詳細は次号で

木浜内湖・赤野井湾の水草異常繁茂対策 雇用促進住宅、地上デジタル受信不可問題…

びわ湖南湖をはじめ、赤野井湾や木浜内湖では、水草の異常繁茂による環境や漁業への影響が深刻な問題となっています。10日の政府交渉では、異常繁茂のメカニズムの解明とともに水草除去対策に政府の抜本的な対策、県事業に対する財政的な支援を求めます。



水草が繁茂する木浜内湖

このほか雇用促進住宅問題では、廃止計画を撤回することや各宿舍の「空き室」を早急に改善し入居希望に応えること。また高層建築物等による電波障害で地上デジタル波が受信不可となる地域への対策、国保問題などについて、国の積極的な対応を求め交渉します。

日本共産党

守山民報

守山市議会議員

こまき一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者

まつば栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 470号 2010・2・10 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。